

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	福祉・介護・健康の里づくり事業	会計	一般会計	事業No.	204	施策順No.	35-015
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-1-4-10-15		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	介護高齢課		
施策	35 高齢者福祉の推進	事業期間	開始	22	終了	23	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内の要介護認定者						A十分達成した Bどちらかといえれば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の介護保険適用者数(年度末要介護認定者数)			5609	5699	5699	
	意図	時代に即した介護予防や早期治療、在宅生活支援が受けられる施設が整う						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	整備後の定員の実現度/介護保険事業計画で掲げた定員(%)				100	100	100	A
	医療、介護、福祉が連携した施策を展開するための拠点施設としての機能							
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	高齢者が地域で安心して暮らせる環境が整備される							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	1 平成21年度に介護老人保健施設「ゆうゆう」が新築となり、周辺を「福祉・介護・健康の里づくり事業」として整備する。 飯田市北部地域(上村・南信濃地区を含む)の中心部となる上郷地区に、地域住民と高齢者が一体的に利用できる多目的広場および駐車場を整備する。この多目的広場の整備で、同一敷地内にある介護福祉施設や診療所を結び、保健、医療、福祉の連携による高齢者支援を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	事業概要 現在の「ゆうゆう」を解体撤去し多目的広場や公園を整備する。 用地取得 整備工事着手	現施設解体工事 広場整備工事 用地取得	100%
23年度実施計画	多目的広場及び駐車場整備工事完了。 飯田市北部地域(上村、南信濃地区を含む)の中心部となる上郷地区に、高齢者の介護予防推進と健康づくり等、保健・福祉・医療の連携で高齢者を支援する空間整備が完了する。	広場整備工事	

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	起債…合併特例債 22→23繰越明許費170,000千円 特定財源内訳、補足事項
		県支出金					
		起債		219,600	55,500		
		その他		8,000	8,000		
		一般財源		11,600	2,986		
		計 (A)		239,200	66,486	0	
	正規職員所要時間						
	臨時職員等所要時間						
	人件費計 (B)			0			
	トータルコスト A+B			66,486			

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	高年齢者が健やかに安心して暮らせること	施策の成果指標又はムトス指標	安心して暮らせている高齢者(65才以上)の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	医療・介護・福祉が連携した政策を担う拠点施設の整備の推進が図られた。		
	後期に向けた課題	多目的広場整備後、高齢者の介護予防や健康づくりのための拠点として有効に活用が図られるようにしていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどの ような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	土地開発基金からの用地取得。地域新エネルギー導入等促進事業補助金を活用し、老人保健施設に太陽光発電システムを設置。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどの ような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	合併特例債の有効活用。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	介護老人保健施設の整備と併せて上郷保健センターの取壊し、多目的広場の整備を進めることで、福祉・介護・健康の里としての一体的に利活用できる施設、公園等の整備は必要である。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してみましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	合併後の飯田市北部地域(上村・南信濃地区含)において、高齢者の生きがいと社会参加の推進、介護予防の推進と健康づくり、認知症高齢者ケアの充実、地域で安心して暮らせる支援体制等ができる場の整備により、市域における高齢者支援の均衡ある展開を図ることができる。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------